

文教科学委員会

委員一覧（20名）

委員長	野上 浩太郎（自民）	齋藤 嘉隆（民主）	熊谷 大（自民）
理事	鈴木 寛（民主）	谷 亮子（民主）	義家 弘介（自民）
理事	那谷屋 正義（民主）	藤谷 光信（民主）	草川 昭三（公明）
理事	橋本 聖子（自民）	森 ゆうこ（民主）	山本 博司（公明）
理事	水落 敏栄（自民）	横峯 良郎（民主）	柴田 巧（みん）
	有田 芳生（民主）	石井 浩郎（自民）	自見 庄三郎（国民）
	神本 美恵子（民主）	上野 通子（自民）	(24. 2. 7 現在)

（1）審議概観

第180回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件及び衆議院提出1件（文部科学委員長）の合計2件であり、いずれも可決したほか、本委員会から法律案1件を提出することを決定した。

また、本委員会付託の請願18種類150件のうち、1種類6件を採択した。

〔法律案の審査〕

著作権法の一部を改正する法律案は、委員会において、参考人から意見を聴取するとともに、日本版フェアユース規定に係る政府の検討経緯と本法律案の関係、私的違法ダウンロード罰則化により未成年者が処罰対象となることへの懸念、国立国会図書館においてデジタル化された絶版等資料の更なる活用の必要性等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

古典の日に関する法律案は、委員会において、衆議院文部科学委員長代理より趣旨説明を聴取した後、全会一致をもって可決された。

〔国政調査等〕

2月16日から17日までの2日間、地方

における初等中等教育等に関する実情調査のため、富山県及び岐阜県に委員を派遣して現地調査を行った。

3月15日、文教科学行政の基本施策について平野文部科学大臣から所信を、平成24年度文部科学省関係予算について森文部科学副大臣から説明を、それぞれ聴取した。

また、同日、平成24年2月16日から17日までの2日間、富山県及び岐阜県で実施した、地方における初等中等教育等に関する実情調査のための委員派遣について、派遣委員から報告を聴取した。

3月22日、文教科学行政の基本施策に関し、総合こども園の創設に当たり国費投入する際の公平性確保及び幼児教育の質担保について文部科学大臣の決意、所得連動返済型の無利子奨学金制度導入に伴う検討事項及び国際人権A規約の留保撤回に向けた動き、通常授業以外の指導を行った教員に対するPTA会費からの謝礼支払いの違法性及び文部科学省による調査の必要性、SPEEDIのデータ公開を巡る対応に係る文部科学省の検証結果の公表時期、被災地の子供たちに対する健康調査について国が率先して明確な基準を示す必要性、平成23年度補正予

算で措置された学校施設耐震化事業の執行状況及び非構造部材の耐震化に係る対応、防災教育の教科化について文部科学大臣の見解、大学入試センター試験のトラブルに関する原因究明及び大学入試の在り方、高速増殖炉「もんじゅ」を廃止すべきとの意見に対する文部科学大臣の見解等について質疑を行った。

3月28日、予算委員会から委嘱された平成24年度文部科学省予算等の審査を行い、研究開発法人制度見直しに当たっての検討事項、東日本大震災等を踏まえた医師需給の見通しを立てる必要性、教員の資質能力向上のための教員養成及び免許更新制度の在り方について文部科学大臣の所見、我が国の科学技術政策においてスーパーコンピューターを開発する意義、海洋研究を通じた被災地の復興、改正銃刀法が高校生の射撃競技に与える影響、小学校2年生の35人以下学級推進を法改正によらず教職員定数の加配措置で行おうとする理由、防災及び減災に役立つ地震研究を再構築する必要性、高速増殖炉「もんじゅ」に係る支出経費の内容等について質疑を行った。

6月14日、劇場の現状と課題に対する文部科学省の見解、劇場、音楽堂等に関する議員立法の意義、北海道における教職員の服務規律に関する実態調査の進捗状況、PTA会費流用問題への文部科学省の対応、通学路に係る新たな予算措置策及び安全性強化の重要性、質の高い外国人留学生の確保・獲得に向けた文部科学省の取組、高速増殖炉「もんじゅ」の今後の在り方等について質疑を行った。

また、同日、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律案に関する件を議題とし、同法律案の草案について、委員長から説明を聴取した後、本委員会提出の法律案

として提出することを決定した。

8月28日、我が国のスポーツ予算拡充の今後の方向性について文部科学大臣の所見、ロンドンオリンピックにあたり設置したマルチサポートハウス及びジャパンハウスの効果、教科書採択問題やいじめ問題等における公教育に対する国の責任の在り方、いじめから子どもを守るため、文部科学大臣として明確なメッセージを出す必要性、通学路総点検の予算措置及び通学路の法的位置付け明確化の重要性、障害者スポーツに対する国の支援の在り方について文部科学大臣の見解、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致への課題と展望、領土教育及び歴史教育を正しく確実に行う必要性及び今後の取組の方針、高速増殖炉「もんじゅ」廃炉への方向性等について質疑を行った。

9月7日、オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会に関する決議の件を議題とし、同決議を行った。

〔法律案の提出〕

6月14日、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律案について、本委員会提出の法律案として提出することを決定した。本法律案は、文化芸術振興基本法の基本理念にのっとり、劇場、音楽堂等の活性化を図るため、劇場、音楽堂等の事業、関係者並びに国及び地方公共団体の役割、基本的施策等を定め、もって心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現並びに国際社会の調和ある発展を期するものである。

(2) 委員会経過

○平成24年2月7日(火) (第1回)

- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査を行うことを決定した。
- 委員派遣を行うことを決定した。

○平成24年3月15日(木) (第2回)

- 文教科学行政の基本施策に関する件について平野文部科学大臣から所信を聴いた。
- 平成24年度文部科学省関係予算に関する件について森文部科学副大臣から説明を聴いた。
- 派遣委員から報告を聴いた。

○平成24年3月22日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
 - 文教科学行政の基本施策に関する件について平野文部科学大臣、森文部科学副大臣、奥村文部科学副大臣、神本文部科学大臣政務官、中根経済産業大臣政務官、城井文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。
- [質疑者]

藤谷光信君(民主)、斎藤嘉隆君(民主)、義家弘介君(自民)、上野通子君(自民)、熊谷大君(自民)、山本博司君(公明)、柴田巧君(みんな)、横峯良郎君(大地)

○平成24年3月28日(水) (第4回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 平成二十四年度一般会計予算(衆議院送付) 平成二十四年度特別会計予算(衆議院送付) 平成二十四年度政府関係機関予算(衆議院送付)

(文部科学省所管)について平野文部科学大臣、森文部科学副大臣、奥村文部科学副大臣、神本文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

鈴木寛君(民主)、斎藤嘉隆君(民主)、水落敏栄君(自民)、橋本聖子君(自民)、草川昭三君(公明)、柴田巧君(みんな)、横峯良郎君(大地)

本委員会における委嘱審査は終了した。

○平成24年6月14日(木) (第5回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
 - 劇場、音楽堂等についての議員立法の必要性に関する件、北海道における教職員の勤務規律の実態調査に関する件、通学路の交通安全対策に関する件、質の高い留学生を確保・獲得するための施策に関する件、高速増殖炉「もんじゅ」の今後の在り方に関する件等について平野文部科学大臣、高井文部科学副大臣、神本文部科学大臣政務官、城井文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。
- [質疑者]

鈴木寛君(民主)、義家弘介君(自民)、山本博司君(公明)、柴田巧君(みんな)、横峯良郎君(大地)

- 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律案の草案について委員長から説明を聴いた後、委員会提出の法律案として提出することを決定した。

○平成24年6月19日(火) (第6回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 著作権法の一部を改正する法律案(閣法第64号)(衆議院送付)について平野文部科学大臣から趣旨説明を、衆議院における修正部分について修正案提出者衆議院議員池坊保子君から説明を聴き、同池坊保子君、同馳浩君、同河村建夫君、同下村博文君、平野文部科学大臣、高井文部科学副大臣、神本文部科学大臣政務官、加藤外務大臣政務官、大滝国立国会図書館長及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

森ゆうこ君(民主)、水落敏栄君(自民)、山本博司君(公明)、柴田巧君(みんな)、横峯良郎君(大地)

- 参考人の出席をを求めることを決定した。
- 著作権法の一部を改正する法律案(閣法第64号)(衆議院送付)について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究
科教授 岸博幸君

日本弁護士連合会事務次長

弁護士 市毛由美子君

日比谷パーク法律事務所代表弁護士 久保
利英明君

一般社団法人インターネットユーザー協会
代表理事 津田大介君

[質疑者]

森ゆうこ君（民主）、山本博司君（公明）、
橋本聖子君（自民）、柴田巧君（みん）、横
峯良郎君（大地）

○平成24年6月20日(水)（第7回）

○著作権法の一部を改正する法律案（閣法第64
号）（衆議院送付）を可決した。

（閣法第64号）

賛成会派 民主、自民、公明、みん、国民、
大地

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○平成24年8月28日(火)（第8回）

○古典の日に関する法律案（衆第30号）（衆議
院提出）について提出者衆議院文部科学委員
長代理池坊保子君から趣旨説明を聴いた後、
可決した。

（衆第30号）

賛成会派 民主、自民、公明、生活、みん、
国民、大地

反対会派 なし

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- スポーツ予算拡充に向けた文部科学大臣の決
意に関する件、教科書採択やいじめ問題等公
教育に対する国の責任に関する件、通学路の
安全対策に関する件、2020年オリンピック競
技大会東京招致への課題と展望に関する件、
領土教育及び歴史教育充実の必要性に関する
件、高速増殖炉「もんじゅ」廃炉への方向性
に関する件等について平野文部科学大臣、奥
村文部科学副大臣、城井文部科学大臣政務官、
津川国土交通大臣政務官、神本文部科学大臣
政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

橋本聖子君（自民）、義家弘介君（自民）、
山本博司君（公明）、谷亮子君（生活）、柴
田巧君（みん）、横峯良郎君（大地）

○平成24年9月7日(金)（第9回）

○オリンピック競技大会及びパラリンピック競
技大会に関する決議を行った。

○請願第1176号外5件は、採択すべきものにし
て、内閣に送付するを要するものと審査決定
し、第8号外143件を審査した。

○教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に
関する調査の継続調査要求書を提出すること
を決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に
一任することに決定した。

委員派遣

○平成24年2月16日(木)、17日(金)

○地方における初等中等教育等に関する実情調
査

[派遣地]

富山県、岐阜県

[派遣委員]

野上浩太郎君（自民）、鈴木寛君（民主）、
那谷屋正義君（民主）、橋本聖子君（自民）、
水落敏栄君（自民）、斎藤嘉隆君（民主）、
藤谷光信君（民主）、熊谷大君（自民）、山
本博司君（公明）、柴田巧君（みん）

(3) 委員会決議

—オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会に関する決議—

去る8月12日、ロンドンにおいて第30回オリンピック競技大会が終了した。日本代表選手団は、計38個のメダル獲得を始め入賞は80にも上り、過去最高の成績を取めた。とりわけ女子選手の活躍は目覚ましく、初めてメダルを獲得した競技・種目も増加し、東日本大震災で被災された方々を始め、多くの国民に勇気と感動をもたらした。そのことを証明するかのように、先日、銀座で行われたメダリストによるパレードには、平日にもかかわらず50万人もの人々が祝福に駆けつけ、日本国中が歓喜の声に包まれた。

8月29日からはオリンピックに引き続き、第14回パラリンピック競技大会が開催されており、日本代表選手団は、これまでに10個のメダルを獲得するなど、健闘が続いている。これに対し国民は、障がいを持ちながらもひたむきに競技に取り組む姿に、オリンピックと同様に大きな声援を送っている。

今大会は、スポーツ基本法が制定されて初めての大会であり、今大会で得られた成果や感動を、次世代の選手強化及びスポーツ予算の確保、更なる障がい者スポーツの振興、並びに第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致に結実させていかなければならない。

ここに本委員会は、第30回オリンピック競技大会及び第14回パラリンピック競技大会日本代表選手団の活躍を讃え、感謝の意を表明する。あわせて、来る2020年の第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会を東京都に招致するため、日本国民が一体となって内外における招致活動を強力に推進するよう、政府並びに関係者に対し強く要請する。

右決議する。